

古事記を読む

— 中巻 —

講 師 = ^{ツユキノリヨシ}露木悟義 (本学名誉教授)

時 間 = 10:30 ~ 12:00

受講定員 = 30 人

受講料 = 12,000 円

テキスト：『古事記』倉野憲司校注（岩波文庫）¥903（税込）

参 考 書：『古事記(中)全訳注』（講談社学術文庫）¥924（税込）

〔第1回受付で販売します。〕

※テキストをすでにお持ちの方はご持参ください。

スケジュール

- ① 9月29日（火）神武東征
- ② 10月 6日（火）皇后選定と欠史八代
- ③ 10月13日（火）崇神天皇
- ④ 10月20日（火）垂仁天皇
- ⑤ 10月27日（火）ヤマトタケルの西征
- ⑥ 11月10日（火）ヤマトタケルの東伐
- ⑦ 11月17日（火）神功皇后の新羅征討
- ⑧ 11月24日（火）忍熊王の反逆と酒楽^{さかくら}の歌
- ⑨ 12月 1日（火）宇遲能和紀郎子・矢河枝比売・髪長比売
- ⑩ 12月 8日（火）百済の朝貢と大山守命の反逆

講 座 内 容

和銅5年（712）、稗田阿礼によって始められた修史事業が苦難の末、太安萬侶によって完成しました。

8年の後、編まれた『日本書紀』とともにわが国の最古の古典である『古事記』の神話・伝説・説話のかけに見え隠れている史実性に注目しながら、民族の歴史をいかに物語伝説化し伝承してきたかを考えます。

第1クールの上巻に続いて、第2クールは中巻を読みます。

講 師 プ ロ フ ィ ー ル

東洋大学大学院文学研究科博士課程単位修得退学。
鶴見大学名誉教授。